

**岡崎市総合計画説明会及び
岡崎市都市計画マスタープラン地域別説明会（額田地域） 議事要旨**

日時	令和２年１月２５日（土）１０：００～１１：２０
場所	ぬかた会館（額田）
参加者	４９名

１ 開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

２ あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

３ 各課説明

次期岡崎市総合計画に関する説明（企画課）

岡崎市都市計画マスタープラン（地域別構想まで）に関する説明（都市計画課）

４ 質疑応答

質問者 １	・コンパクトプラスネットワークの定義は、なにか。 - 企業を誘致する際に認める基準はどうなっているのか。地元が望むものとは異なる業種の企業が立地してしまう様に感じる。 - 面的な整備をするにも下水が整備されていないという課題がある。
岡崎市	・各地域に拠点を置き、拠点間を公共交通で結ぶということがコンパクトプラスネットワークの考え方である。 - 市街化調整区域における開発許可・建築許可基準に適合する内容であれば許可が可能となるため、住民が業種を選定するということは困難なことと思われる。 - 市街化調整区域の地区計画運用指針の改定を進めており、住宅地を造る場合、条件によっては合併浄化槽を可能とするような基準案として、課題を解決しようとしているところである。
質問者 ２	・額田地域の発展のためには、道路整備が必要だと感じる。
岡崎市	・額田地域の主要な道路は主に県道であるため、拡幅など引き続き愛知県へ要望を行う。
質問者 ３	・トヨタが静岡県でまちをつくるが、額田では考えていないのか。
岡崎市	・民間企業の主体的なまちづくりである。企業に額田の良さを PR して、検討を進めることは可能であると考えますが、地元の協力が不可欠である。
質問者 ４	・遊びに行くときは本宿駅に出ないといけない。額田は本宿駅を拠点とした地域なのか、それとももっと身近な地域が拠点となっていくのか。

岡崎市	・額田支所周辺で日常生活に必要な機能の立地は進める必要はあると考えており、都市計画マスタープランにおいて地区拠点として位置づけを考えている。
質問者 5	・額田の外れに住んでいるが、人口減少、空き家・耕作放棄地の増加など課題があり、消滅集落にならないように行政として事業を進めてほしい。
岡崎市	・額田をどうしていくか、地元と一緒に考えていきたい。額田の良さを PR するには地元の協力が不可欠である。定住を受け入れる施策を来年度実施していく予定である。
質問者 4	・地域の現況で交通環境が良い、悪いと両方記載があるがどちらなのか。
岡崎市	・アンケートでは住みにくい理由として交通の便が挙げられている。一方で、インターチェンジや国道 473 号の広域交通網は整備され利便性が向上した。住民に身近な交通は不便という声があると認識している。バスなどの公共交通については、今後担当課が地域住民とともに検討していく。

5 閉会のあいさつ

岡崎市企画課 岡田課長から挨拶

以上